

平成 13 年 4 月 17 日

教育成果点検評価委員会 (1)

1. 自己点検システム

教育プログラムの評価、検討をどのように行っているか。学・協会における教育プログラムへの参画の経験は、例えば、〇〇学会の〇〇教育研究委員会で、委員として〇〇年から〇〇年の間参加し、〇〇〇〇の成果を得た。あるいは、〇〇〇〇について発表した。

2. 教育成果の現状調査

卒業生、修了生の公的資格取得についての調査：

技術士，1 級建築士，1 級土木施工管理技士，測量士，学位などの取得年。

学術講演会における学生、院生の受賞の調査：

土木学会年次学術講演会優秀講演賞，関東支部技術研究発表会優秀講演賞など。

平成 13 年 4 月 17 日

JABEE 教育成果点検評価委員会 (2)

本年 4 月 17 日に検討した下記の件に対して、約 2 ヶ月後の 10 月末までにまとめることを提案する。

1. については、教員個人データ 14. 教育活動の作成に必要となる。
2. については、研究室ごとにまとめて頂く。自己点検書の 5. 学習・教育目標達成度の評価と証明のデータに役立つと考えられる。

1. 自己点検システム

教育プログラムの評価。検討をどのように行っているか。学・協会における教育プログラムへの参画の経験は、例えば、〇〇学会の、〇〇教育研究委員会で、委員として〇〇年から〇〇年の間参加し、〇〇〇〇の成果を得た。あるいは、〇〇〇〇について発表した。

2. 教育成果の現状調査

卒業生、修了生の公的資格取得についての調査：

技術士，1 級建築士，1 級土木施工管理技士，測量士，学位などの取得年

学術講演会における学生，院生の受賞の調査：

土木学会年次学術講演会優秀講演賞，関東支部技術研究発表会優秀講演賞など

平成 13 年 11 月 13 日

教育成果点検評価委員会 (3)

本年 8 月 28 日に依頼した以下の自己点検システムと教育成果の現状調査については、順調に資料と調査報告が集まっている。

1. 自己点検システム

目的：教員個人データ 14. 教育活動の作成に必要となる。教育プログラムの評価、検討をどのように行っているか。学・協会における教育プログラムへの参画の経験は、例えば、〇〇学会の〇〇教育研究委員会で、委員として〇〇年から〇〇年の間参加し、〇〇〇〇の成果を得た。あるいは、〇〇〇〇について発表した。

2. 教育成果の現状調査

目的：自己点検書の 5. 学習・教育目標達成度の評価と証明のデータに役立つと考えられる。

卒業生，修了生の公的資格取得についての調査

技術士，1 級建築士，1 級土木施工管理技士，測量士，学位などの取得年。

学術講演会における学生，院生の受賞の調査

土木学会年次学術講演会優秀講演賞，関東支部技術研究発表会優秀講演賞など。

学習・教育目標達成度の評価方法と評価基準において，本学科の重点学習・教育目標を確認する。

平成 14 年 3 月 23 日

教育成果点検評価委員会 (4)

1.教育成果の現状調査

目的：自己点検書の 5. 学習・教育目標達成度の評価と証明のデータに役立つと考えられる。

卒業生，修了生の公的資格取得についての調査：

技術士，1 級建築士，1 級土木施工管理技士，測量士，学位などの取得年。

学術講演会における学生、院生の受賞の調査：

土木学会年次学術講演会優秀講演賞，関東支部技術研究発表会優秀講演賞など。

学習・教育目標達成度の評価方法と評価基準において，本学科の重点学習・教育目標を再度確認する。

学期末の成績の一覧表が出来たら，学科長と学務委員で成績の評価に偏りがないか点検頂く。

平成 14 年 5 月 7 日

教育成果点検評価委員会 (5)

学期末の成績の一覧表について、学科長と学務委員による成績評価の偏りの有無については、点検の結果、偏りは無しとの報告がされた。

平成 13 年度前期と後期の授業科目における成績分布一覧表を、学務委員に作成頂いた。

授業科目により成績評価に少し偏りがあることは、了解される。

授業改善のための卒業生アンケート結果の速報が、若井先生と松本先生より報告された。

教育成果の現状調査としての、卒業生、修了生の公的資格取得についての調査（技術士，1 級建築士，1 級土木施工管理技士，測量士，学位などの取得年）および、学術講演会における学生，院生の受賞の調査（土木学会年次学術講演会優秀講演賞，関東支部技術研究発表会優秀講演賞など）についての調査結果は、ひとまず確定とする。

学習・教育目標達成度の評価方法と評価基準において、本学科の重点学習・教育目標をもう一度再度確認する。

平成 14 年 7 月 24 日

教育成果点検評価委員会 (6)

建設工学実験 I の成績の評価は、4 研究室からの評価を併せて B が 2 個以上の場合、全体の評価を B とする。

学修原論の成績評価は、昨年と同様に 10 月末の学園祭に於ける発表に対して行う。このことを、教務委員が掲示する。

前期末の成績の一覧表については、学科長と学務委員により、成績評価の偏りの有無を点検する。

今年度もリアクションペーパーによる授業評価が、昨年と同様に実施される予定である。

平成 14 年 10 月 23 日
教育成果点検評価委員会 (7)

前期末の成績の一覧表について、学科長と学務委員による成績評価の偏りの有無については、点検の結果、教官の偏りは無しとの報告がされた。

10 月 26 日(土)12:00～14:00 に生協 1 階で実施する予定の学修原論について、発表の方法と評価の方法は昨年通りとする。

現在実施しているリアクションペーパーについて、昨年と同様に実施することを教官に再確認する。

学習・教育目標達成度の評価方法と評価基準において、本学科の重点学習・教育目標をもう一度再確認する。